

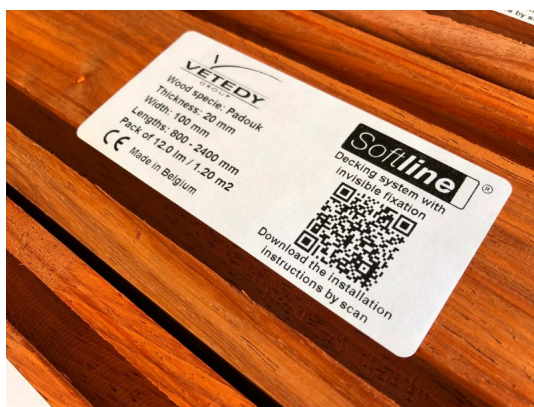
## STEP 1 商品の確認

ソフトライン商品を荷受けした時点で商品に欠品、損傷がないかチェックしてください  
また干割れや軽度の欠け等が見られる材はカットするか目立たない箇所に配置してください



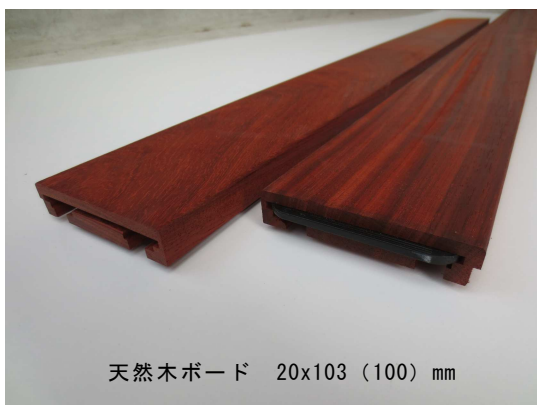
## STEP 2 QRコードで施工動画やイラスト付き施工要領書のダウンロード

床板の裏面に貼られている商品ラベルにQRコードが記載されています  
施工動画やイラスト付きの施工要領書がそちらで確認できますので必ずご確認ご利用ください

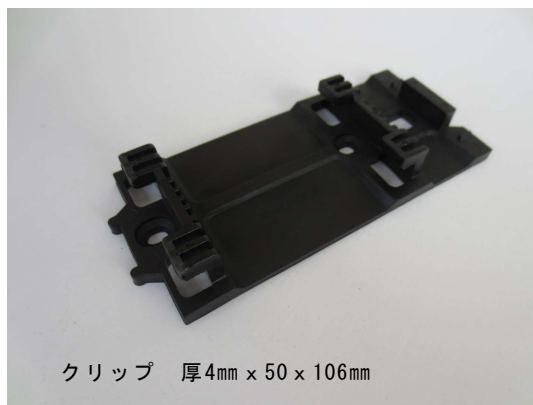


## STEP 3 ソフトライン部材の確認

ソフトラインはシンプルに4つの部材のみで構成されています



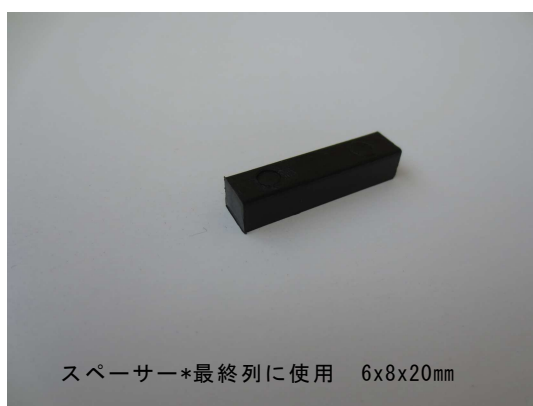
天然木ボード 20x103 (100) mm



クリップ 厚4mm x 50 x 106mm



クリップ取付用ビス SUS木ビス3.8x25mm



スペーサー\*最終列に使用 6x8x20mm

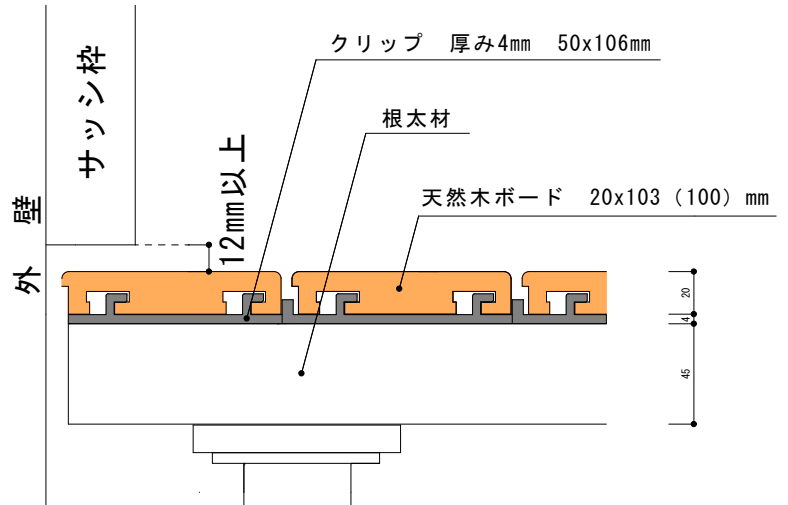
## STEP 4 根太ピッチ400mmに配置された下地を用意

\*木下地の場合 根太材は45x60mmのセラガンバツ材を推奨

\*床材の仕上ががサッシ窓などの枠下になる場合は、サッシ枠下から12mm以上を床板の仕上げ高さに設定してください

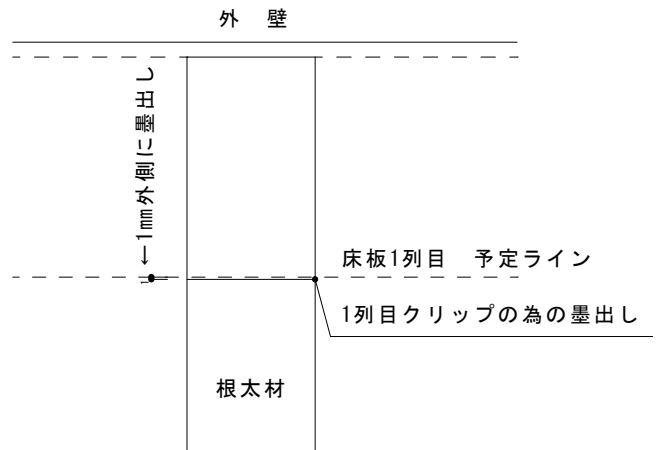


\*下地に関してはホームページにある施工図を参考にしてください



## STEP 5 1列目クリップ取付けの為の墨出し

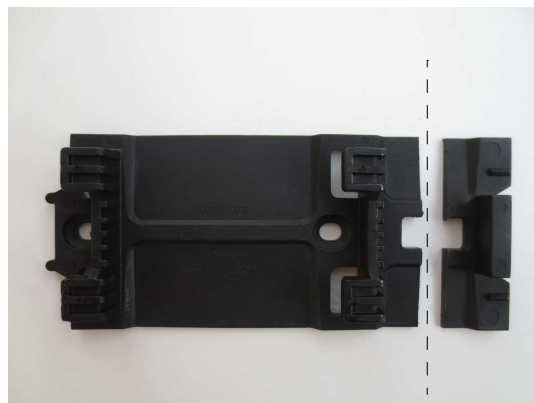
1列目のクリップ取付けの為に床板の仕上げ面より1mm外側のラインを墨出しします



## STEP 6 1列目クリップのハカマ部分をカット

1列目クリップのハカマ部分を根太材と同数だけカットします (ノミや樹脂用ハサミ等で裁断)

写真 左部分だけ使用します

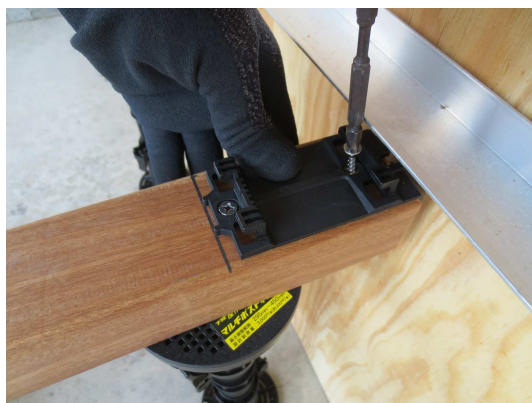


**STEP 7 クリップの配置**

先程カットしたクリップを根太上に配置し、  
クリップのツノ先端部分をラインに合わせる

**STEP 8 1列目クリップの取付け**

根太上に配置したクリップを付属の木ビス（SUS3.8x25mm）を使用し2カ所ビス留めします  
墨出ししたラインに沿うように注意してビス留めしてください  
1列目にあるこの作業が後々のストレートラインに大きく関係してきます

**STEP 9 1列目クリップを根太全て取付け**

他の根太も同様の手順でビス留めします



## STEP 10 床板の差し込み

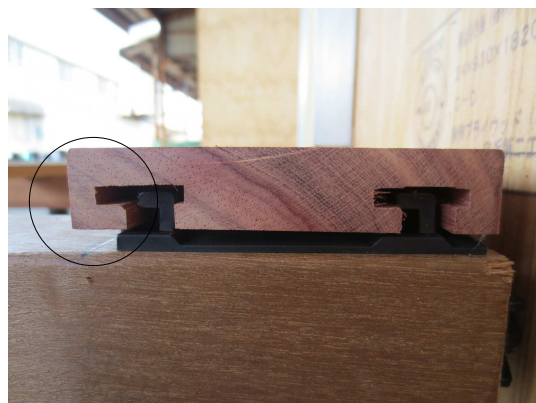
床板を取付けしたクリップに挿入します

床板のT字に加工された部分がクリップのユ型コネクトにスッと入るように挿入してください

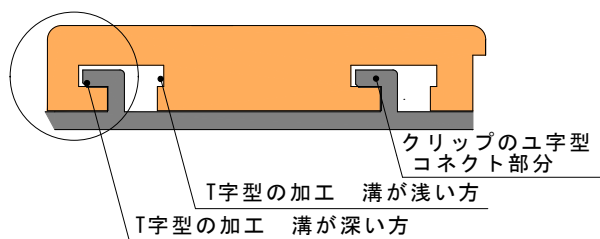


●床板差し込みの際の注意点  
床板の向きに注意してください

\* 断面写真



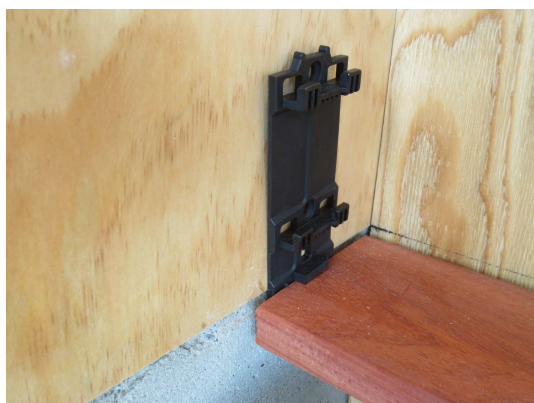
床板のT字型の加工部分には溝が深い方と浅い方があります  
深い方向にクリップのユ字型のコネクト部分が入る向きが  
正しい向きになります  
逆向きに取り付けますと経年により必ず床板が、  
外れてきますので必ず正しい向きで取付けを行ってください



## STEP 11 クリアランスの確保及び緩衝材

建物壁面部や屋外用コンセント等の周囲には4mm以上のクリアランスを設けてください

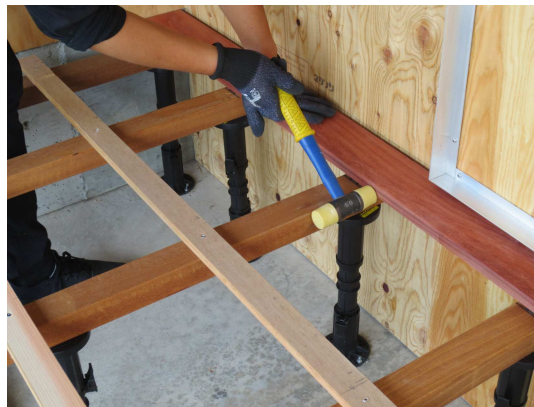
また床材取付けの際に、衝撃が壁面などに直接伝わらないように緩衝材を床板の間に挿入してください  
本書ではクリップを壁面と床板の間に挿入し、双方を兼ねるように使用しています



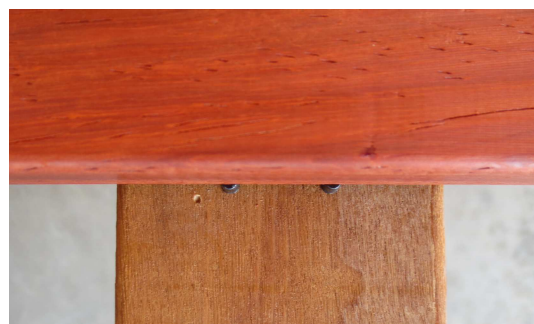
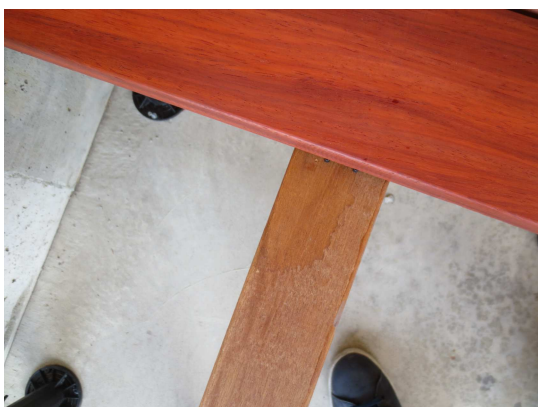
**STEP 12 床板の取付け**

先程挿入した床板をゴムハンマーで叩きハメ込んでいきます

- ①まずは床板の長手方向継ぎ手部分（エンドマッチ加工）を根太の中心に合わせます



- ②ゴムハンマーでクリップに向けて叩き込んでいきます

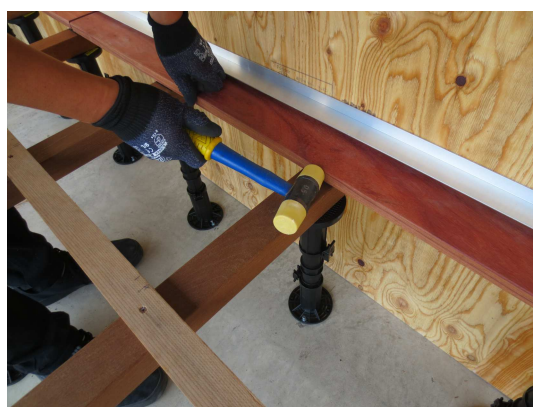


- ③ツノ部分が1mmほど見えるのが仕上がりになります。  
\* このツノ部分が次列のクリップを導くための目印になります

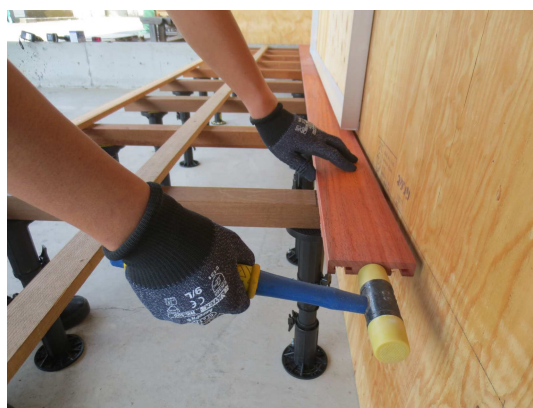
STEP 13 床板を長手方向に継ぐ  
床板を長手方向に継いでいきます



①長手方向の根太に取付けされたクリップに床板を挿入します



②床板を前回取り付けた同じ手順ではめ込んでいきます



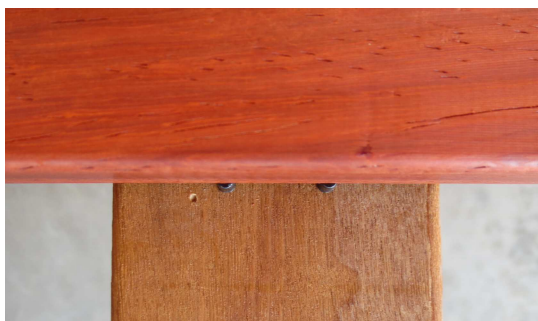
③ヨコの板とエンドマッチ部分がピッタリフィットするように木口側からゴムハンマーで叩きます



④継手部分がフィットしているか、ツノ部分が1mmほど見えるか必ず確認してください。

⑤ ①～④の手順を繰り返して長手方向に継いでいきます

## STEP 14 次の列のクリップを取付け



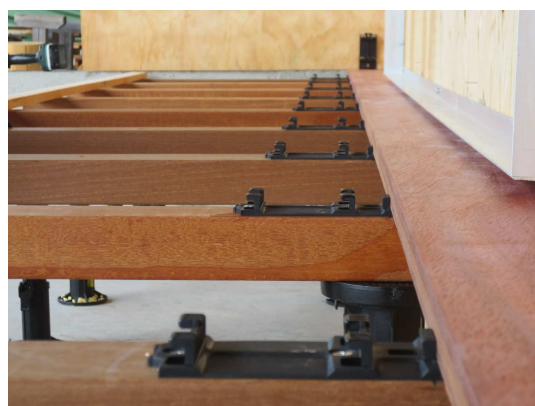
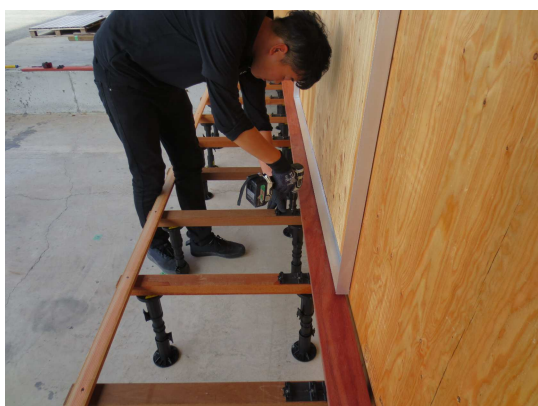
- ① 根太上にあるツノ部分を目指しクリップのハカマ部分を挿入します クリップをゴムハンマーで叩き込みます  
\* 写真の箇所をゴムハンマーで叩いてください 樹脂の強度が高いので比較的強く叩き込んでも大丈夫です



- ③ クリップのスペーサー部分が床板にフィットしているか必ず確認してください  
\* 確実にフィットしていないと墨出したストレートラインが狂ってきますのでご注意ください。



- ④ 付属の取付けビスで2箇所ビス留めします  
\* クリップ自体が根太の中心に配置されるように微調整しながらビス留めを行ってください  
樹脂は柔軟性がありますのでツノ部分に近いビス穴を根太の中心に合うようにビス留めします

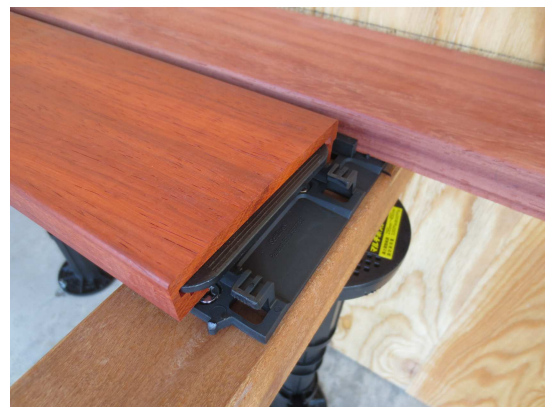


- ⑤ ①～④の手順を繰り返して全ての根太にクリップを取り付けてください

## STEP 15 次列の床板の取付け



①前列で行った同じ手順で床板を取り付けていきます



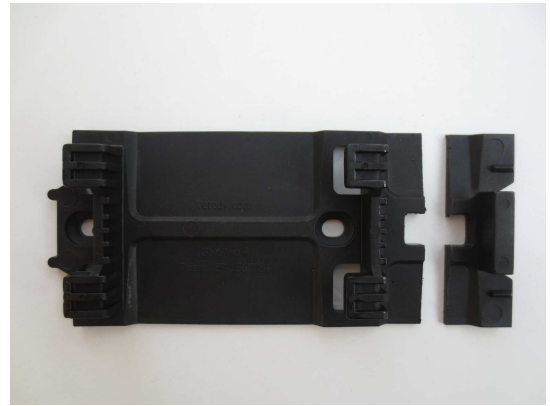
②床板の継ぎ手は必ず根太の中心に合うように取り付けてください



③床板、クリップの取付けを最終列の前の列まで行ってください



## STEP 16 最終列の仕上げ方法 クリップ編



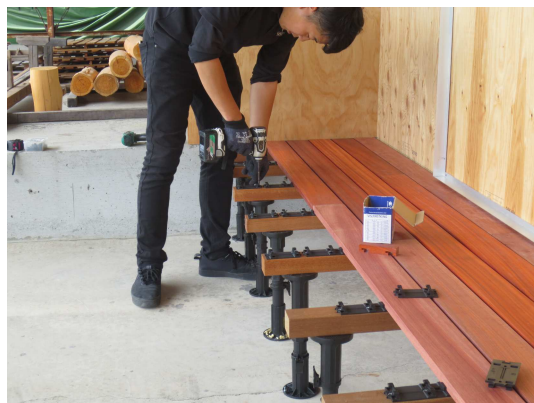
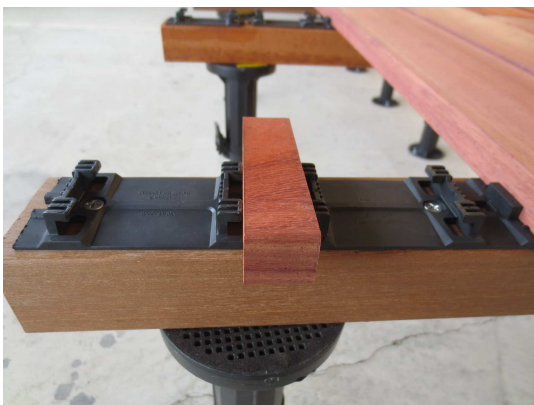
①最終列を仕上げるには写真のように最終1列前から作業を行う必要があります

②クリップのハカマの部分を裁断し取り外します



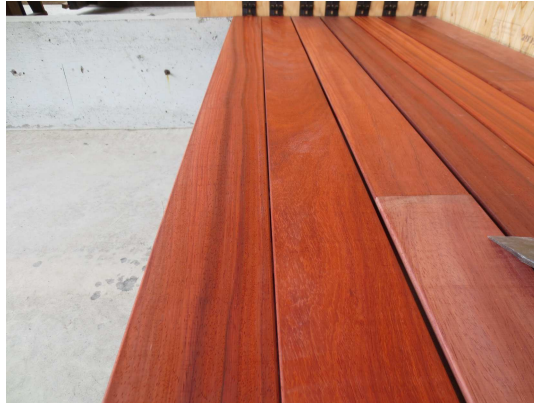
③クリップを写真のように逆向きに配置しビス留めを行います

向かい合ったクリップの上部にあるユ字型コネクタの距離を **23mm** にして配置しビス留めしてください

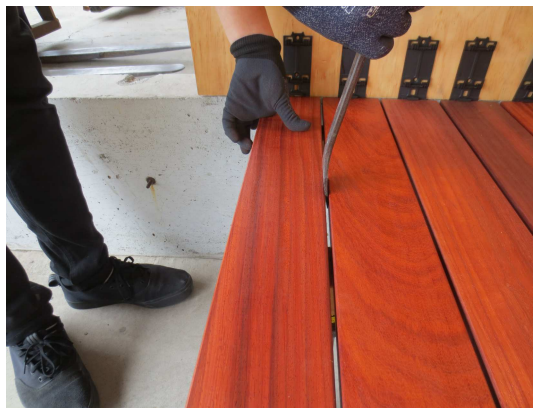


④全ての根太にクリップを逆向きに取付けます

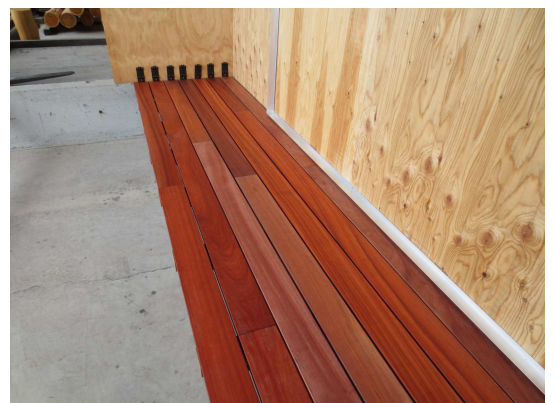
## STEP 17 最終列の仕上げ方法 床材編



- ①床板取付け手順に倣って最終列と最終1列前の床板のはめ込みを完了してください  
\*最終列の床板はクリップと同様に逆向きに床板をはめ込むように注意してください



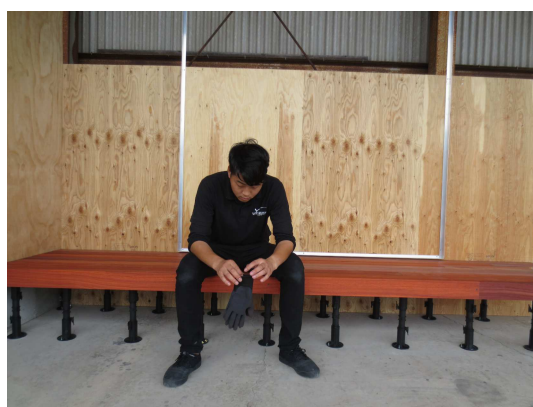
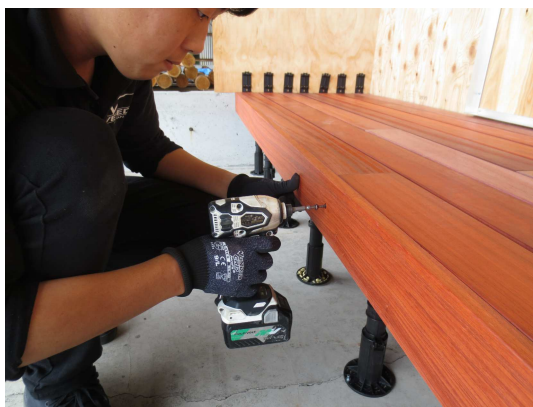
- ②薄手のバール等を目地に挿入し床板同士の間を広げてください  
\*最終列の目地幅は 6.5mm になります



- ③広げた6mm程の目地にスペーサーを挿入し床材同士をせつつくようにして固定します  
\*スペーサーは屋外用ボンド等で下地面に固定してください
- ④すべての根太箇所に同じ作業を行い床材の取付けを完了してください

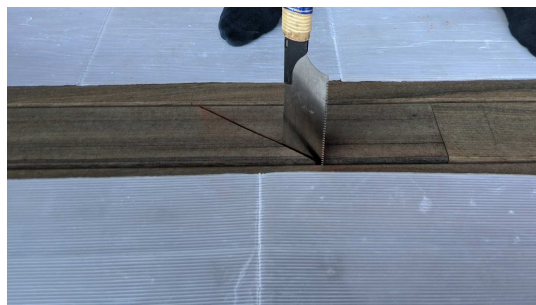
## STEP 18 幕板（側板）の取付け

幕板（側板）はステンレス製ウッドデッキビス（市販品）にて皿穴加工、ビス留めを行ってください  
裏面の溝加工している部分は厚みが薄くビスの取付けが出来ません。板材中心部分にビス留めしてください

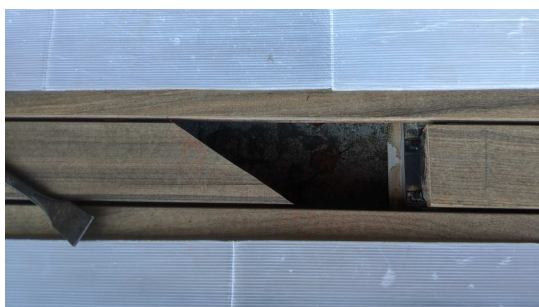


ソフトラインのインストールはこれで完了です  
施工動画も参考にして施工を行ってください  
ご不明な点等ございましたらVETEDY JAPANまで

## ●床板の交換方法



- ① 交換したい材を押さえているクリップの突起部を、マイナスドライバーや細いノミでカット
- ② 取り除きたい床材を切断機とノコギリでカット



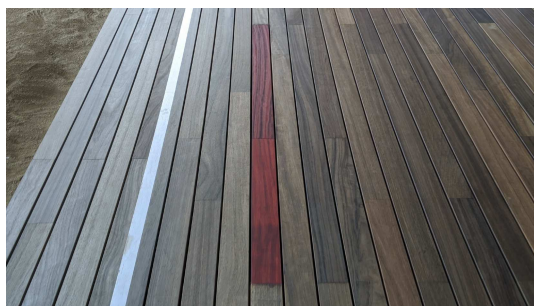
- ③ カットした床材を取り除きます



- ④ 交換材をスライド、ヤマ折りしてはめ込む



- ⑤ 新しい材が外れることを防ぐためにスペーサーを目地にはめ込む。



交換完了